

ディスカバー・スクーパ・ダイビング登録書式

参加者の記載 (郵外秘)

お名前 (漢字) : _____

(ローマ字) : _____

生年月日 (西暦) : 年 月 日 性別: 男 女

住所: 〒 _____

e-mail: _____

緊急連絡先

氏名 _____

本人との関係 _____ 電話番号 () _____

身長: _____ cm 体重: _____ kg 足のサイズ: _____ cm 視力: よい 悪い

こちらに記載された情報は、PADI体験ダイビングプログラム (ディスカバー・スクーパ・ダイビング、バブルメーカー) に関するアンケート・ヒアリング、当社新プログラム及び新商品のご案内、ダイビング関連イベント等ダイビング関連情報の提供に使用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、PADIジャパンのホームページに掲載のプライバシー・ポリシーをご覧ください。

PADIインストラクターの声明書: 私は上記参加者に対し、ディスカバー・スクーパ・ダイビングプログラムのPADIインストラクター・マニュアルの体験プログラム・ガイドに記載されているとおりに指導しました。

インストラクター氏名: _____

インストラクター署名: _____ PADI No. _____

参加日: 年 月 日

DC/PIRA名: _____ No.S- _____

(Rev. 06/08) スタッフの皆様へ 真摯にご対応下さい。

スタッフの皆様へ

DSDプログラムが終了いたしましたら、記念カードのついているページごと切り離してお客様にお返しください。

認定ダイバーになることを推奨

体験後、認定ダイバーになることをお勧めしてあげてください。

今回行ったスキルがコースの一部として経験の実績に認められる場合があることをお伝えください。お客様に「PADI オープン・ウォーター・ダイバー・コース委託照会レコード」をお渡しください。

コースの学料部分を PADI e ラーニング という方法もあることをお伝えいただき、記念カード (切り離し可能) の URL からアクセスいただける旨もお伝えください。

氏名	年齢	性別	身長	体重	足のサイズ	視力	備考
山田 太郎	35	男	175	70	25.5	正常	
田中 花子	28	女	158	55	23.5	正常	
鈴木 一郎	42	男	180	85	27.0	正常	
高橋 美穂	22	女	160	50	24.0	正常	
伊藤 健太	30	男	170	65	25.0	正常	

登録について

PADIメンバーは、プール/限定水域またはオープンウォーター・ダイブの実施から30日以内に、ディスカバー・スクーパ・ダイビングの参加者を所属するPADIオフィスに登録しなければなりません。登録の方法は3種類ございます。

- **オンライン登録**
PADIウェブサイト内の「DSDオンライン登録」より必要な情報を入力し、最後に確認ボタンを押して完了となります。
 - **郵送による登録**
ディスカバー・スクーパ・ダイビング登録書式のコピーをとり、PADIジャパン カードサービス宛にお送りください。
 - **ファックスによる登録**
ディスカバー・スクーパ・ダイビング登録書式をパンフレットから切り取りPADIジャパン カードサービス宛にお送りください。
- (送付先)
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-20-1
PADIジャパン 管理部 カード・サービス宛
TEL: 03-5721-1731 FAX: 03-5721-1735

PADIメンバーのクレジット

PADIメンバーは、登録されたディスカバー・スクーパ・ダイビングの参加者5名に対し、PADI オープン・ウォーター・ダイバー1名分の認定数としてクレジット (カウント) されます。このクレジットは登録を行うことで適用されます。ディスカバー・スクーパ・ダイビングを実施したダイブマスターとアシスタント・インストラクターもこのクレジット (最大75名分) を取得し、継続教育に利用することができます。

(Rev. 08/08)

**いつでもどこでも
オンライン学習**

e
padi.com/elearning

ディスカバー・スクーパ・ダイビング

**PADIディスカバー・スクーパ・ダイビング
参加者声明書**

以下の項目をよく読んでください。この声明 (病歴書、危険について、ディスカバー・スクーパ・ダイビング知識と安全の復習を含みます) は、あなたにダイビングに関する潜在的な危険とディスカバー・スクーパ・ダイビング中にあなたにいただきたいことをお知らせします。あなたの署名がこのプログラム参加に当たって必要となります。

もしあなたが未成年者なら、参加者声明 (病歴書、危険について) にあなたと親権者の署名も必要となります。

あなたは、スクーパ・ダイビング中に行う呼吸と圧平衡に関する最も重要である安全ルールをPADI プロフェッショナルから教わります。

スクーパ器材の誤った使用は重度な障害または死にいたることがあります。

あなたがそれを正しく使えるように、資格のあるインストラクターの直接的な監督下で使用法を教わらなければいけません。

**ディスカバー・スクーパ・ダイビングの危険について
(日本国内での使用に限る)**

よく読んでご記入ください。

私 _____ (参加者) は、圧縮空気を使用するスクーパ・ダイビングに付随する危険性について納得の行く説明を受け、理解した上で練習セッションとオープンウォーター・ダイビングに参加することをここに証明します。

このプログラムに参加するにあたり、私に関連する環境および条件などについてプログラムの実施者の指示に従います。また指示に従わず発生する事象あるいは不測の事態から自身に生じる可能性のある障害その他の損害のすべてについて、私自身が責任を負うとともに、健康管理など細心の注意を払って参加します。私は、このプログラムが、スクーパ・ダイビングへの体験的なプログラムとして設定されていることを理解しています。さらに進んでダイバーとして認定を受けるためには、認定コースに参加し、資格のあるインストラクターから直接全ての指導を受けなければならないことを理解しています。

私はプログラムを提供する _____ (PADI メンバー) または _____ (所在地) に所在する _____ (ストア) 及び PADI に対して、私が同インストラクターの指示に従わなかったこと又は私の重大な過失によって私が被った損害については、同インストラクターに過失が存在した場合においても、その賠償責任を問わないことを約束します。

私はこの危険の告知書が単に注意書きにとどまるものではないことを理解し、この危険についての内容のすべてを理解して署名します。私が未成年の場合は、私の親権者とともに署名します。

参加者署名 _____ 日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

親権者署名 _____ 日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(真面目な病歴書をご記入いただきご署名をお願いします)



ダイビング後の飛行機乗りに関する推奨事項

1. ダイビング後に飛行機に乗る場合は、水面休憩時間として少なくとも12時間待たなければなりません。
2. 反復ダイビングや複数日にわたるダイビングの後に、飛行機に乗る前に、水面休憩として少なくとも18時間待たなければなりません。
3. 減圧停止をした場合は、飛行機に乗るまでは、水面休憩として最低でも18時間をこえる時間待たなければなりません。